

各位

遠鉄グループ平成 25 年度決算及び遠州鉄道株式会社の組織変更 ならびに遠鉄グループの人事異動等について

1. 遠鉄グループ平成 25 年度決算について（別紙のとおり）

- (1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況
- (2) 業績推移(連結決算・セグメント別売上高)
- (3) 遠鉄グループ各社の主な事業内容

2. 遠州鉄道株式会社の組織変更について(平成 26 年 6 月 1 日付)

- (1) グループ経営推進本部の変更の主な内容
 - ① 介護施設の増加に対応するため「介護事業推進室」を「介護事業部」に名称変更し「介護業務課」を新設する
 - ② 「営業推進部」から「経営企画部」に「スポーツクラブエスポ」を移管する
 - ③ グループ総合力を強化するため「営業推進部」に「アドプロモーション課」を新設し、「経営企画部 事業開発課」から広告事業を移管する
- (2) 不動産事業本部の変更の主な内容
営業力の強化、および業務効率化を図るため「不動産営業課」を一般賃貸業務の「賃貸事業課」と仲介支援の「不動産業務課」に再編する
- (3) 保険事業本部の変更の主な内容
「生命保険サービス課」を「生命保険営業四課」に名称変更する

3. 遠鉄グループの人事異動について（別紙のとおり）

- (1) 遠州鉄道株式会社の役員人事(平成 26 年 6 月 27 日付)
- (2) 遠州鉄道株式会社の管理職人事(平成 26 年 6 月 1 日付)
- (3) 遠鉄グループ各社の常勤役員の人事(平成 26 年 6 月 1 日・27 日付)

4. 遠州鉄道株式会社の臨時給支給について

遠州鉄道株式会社では消費税増税等に伴う従業員の家計負担増加を勘案し、以下のとおり臨時給を支給することといたしました。

- (1) 支給金額は 10,000 円(特定契約従業員で厚生年金加入の従業員は 5,000 円)
- (2) 支給対象者は平成 26 年度夏季賞与を支給する従業員
- (3) 浜松観光バス株式会社および株式会社遠鉄トラベルについても上記のとおり支給

1. 遠鉄グループ平成 25 年度決算について

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策などを背景に円高の是正や株価の上昇が進むとともに、消費税増税前の駆け込み需要で個人消費が促進されたことなどにより、多くの企業で業況判断が改善し、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、遠州鉄道創立70周年・遠鉄ストア創立40周年・遠鉄百貨店開店25周年を機とした各種記念事業をグループ全体で推進し、一層の経営基盤の強化に努めてまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、営業収益1,708億5千4百万円(前連結会計年度比3.1%増加)、経常利益40億3千7百万円(前連結会計年度比1.5%増加)、当期純利益は18億8千2百万円(前連結会計年度比3.0%増加)となりました。

(1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況

① 運輸事業(鉄道事業・バス事業・タクシー事業など)

鉄道事業におきましては、浜松市と連携し高架新駅の歩道橋・エレベーター・駐輪場を整備するとともに、朝のラッシュ時間帯で4両編成の運行数を増やすなど、お客さまの利便性向上を図りました。

乗合バス事業におきましては、新車12両を導入するとともに、「松江町車庫」を改装・整備し、高速・空港バスの効率的運用を図りました。また、高速バスでは、横浜線の「夜行便」新設や大阪線の「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」への乗入れ実施を、空港バスでは「東名豊川バス停」での乗降を始めるとともに、更なる収益拡大に努めました。

貸切バス事業におきましては、新型バス7両(遠州鉄道大型4両・浜松観光バス大型3両)を新たに導入いたしました。

タクシー事業におきましては、車両93両を更新するとともに、車椅子に対応した福祉車両1両を増車いたしました。また、昨年4月より遠鉄タクシーと遠鉄交通の共同配車サービスを開始し、配車スピードの向上を図りました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は、155億7千7百万円(前連結会計年度比0.02%増加)となりました。

② レジャーサービス事業(旅行業、ホテル・旅館業など)

旅行業におきましては、バンビツアーにて、創立70周年を記念したツアーを積極的に企画・販売するとともに、インターネットを利用したクレジット決済サービスを開始するなど、利用人員の拡大に努めました。また、遠鉄トラベルでは、修学旅行の獲得に注力するとともに、好奇心と心地よさの旅をコンセプトにした海外旅行「イートリップ・クラシック」の企画・販売を推進いたしました。

ホテル・旅館業におきましては、ホテル九重では、個人のお客さま向け懐石プラン「彩り紀行」などを中心に、インターネットによる申込が順調に推移いたしました。ホテルウェルシーズン浜名湖では、個人のお客さまのリピート率が高まるとともに、ランチバイキング・ディナーバイキングの利用者数も好調に推移いたしました。また、華咲の湯では新たに炭酸泉を導入するなどサービスの拡充に努めました。浜名湖パルパルでは温泉入浴券付き1Dayフリーパスなど、各施設との相互利用を促進する商品の販売に取り組みました。

ホテルコンコルド浜松では、お客さま用エレベーター3基の更新及び小宴会場2カ所の改装ならびに全客室のベッドを更新し、快適にご利用いただけるホテルとしての魅力向上に努めました。

以上の結果、レジャーサービス事業の営業収益は、猛暑や荒天の影響等もあり107億7千6百万円

(前連結会計年度比 1.8%減少)となりました。

③ 商品販売事業(百貨店業、食品スーパー業、自動車販売業、石油製品販売業、サービスエリア
物品販売業)

百貨店業におきましては、遠鉄百貨店開店 25 周年記念イベントやお客さま参加型イベント「わくわくライブ」など、イベントによる集客強化に取り組みました。また、昨年 11 月には遠鉄百貨店・UP-ON (アップ・オン)にスウェーデン発の世界的アパレルブランド「H&M」をオープンし、新たな顧客層の獲得に努めました。

食品スーパー業におきましては、遠鉄ストア創立 40 周年を記念したお客さま感謝セールを1年間継続的に開催するとともに、昨年5月に「掛川中央店」を、8月に「西ヶ崎店」を、本年1月には「大平台店」をリニューアルオープンし、収益の拡大を図りました。

自動車販売業におきましては、ネットヨタ浜松では「吉田店」のリニューアルやサービス部門の営業時間延長など、お客様の利便性向上を図るとともに、消費税増税前の需要を捉えるべく「大商談会」などのイベントを開催し、収益確保に努めました。トヨタレンタリース浜松では昨年9月に「雄踏店」を新規オープンし、浜松市西部から湖西地区までの営業エリア拡大に努めました。

石油製品販売業におきましては、法人向けの油類販売が堅調に推移するとともに、柳通り新津 SS に併設したドトールコーヒーショップの全面改装や、宅配水「アクアクララ」のボトル受取り窓口の増設に取り組み、収益の拡大を図りました。

以上の結果、商品販売事業の営業収益は、1,177 億3千2百万円(前連結会計年度比 2.9%増加)となりました。

④ 不動産事業(不動産業、建設工事業)

不動産業におきましては、静岡文化芸術大学と共同で企画・設計した分譲住宅を浜松市和合町に建築したのをはじめ、お客さまのライフスタイルに合わせて自由に変更できる新スタイルの分譲住宅「&F(アンドエフ)」を発売するなど、分譲住宅 118 棟、分譲土地 77 区画を販売いたしました。

注文住宅では、中東遠地域の市場拡大のため、掛川市に「掛川住宅プラザ」をオープンしたほか、創立 70 周年を記念した新商品「Bright フレームスタイル」の販売を開始し、きらりタウン浜北にモデル邸を建築するなど販売促進に努めた結果、注文住宅 107 棟をお引渡しいたしました。

分譲マンションでは、人気の高い浜松市中心部の都市型マンション「ブライトタウン紺屋町」をはじめ、合計 98 戸のお引渡しをいたしました。

建設工事業におきましては、遠鉄建設では土地活用提案による新築工事の受注獲得に注力するとともに、太陽光発電事業で新たに8カ所の発電所建設に取り組むなど収益拡大に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は、162 億8千6百万円(前連結会計年度比 8.9%増加)となりました。

⑤ その他の事業(保険代理業、食品検査事業、介護事業、自動車運転教習業、人材派遣業、業務請負業、情報提供・情報処理サービス業など)

保険代理業におきましては、昨年9月に静岡営業所を移転・増床オープンするとともに「アフラックサービスショップ西ヶ崎店」を新規オープンし、新たなお客さまの開拓に努めました。

介護事業におきましては、昨年4月にショートステイとデイサービスの複合施設「ラクラス見付」を新規オープンし、事業の拡大とサービスの充実に努めました。

自動車運転教習業におきましては、遠鉄磐田自動車学校に合宿寮を新築オープンするとともに、

遠鉄浜岡自動車学校の校舎を建て替えるなど、施設の充実と教習生の受入増加を図りました。

情報提供・情報処理サービス業におきましては、WindowsXP サポート終了に伴うOS更新業務に注力するなど、収益確保に努めました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は、104 億8千2百万円(前連結会計年度比 6.9%増加)となりました。

(2)業績推移

① 連結決算

(単位:百万円)

	H24 年度	H25 年度 (当期)	H24 年度 比	H26 年度 計画	H25 年度 比
営業収益	165,704	170,854	103.1%	172,300	100.8%
営業利益	3,714	3,794	102.2%	3,810	100.4%
経常利益	3,975	4,037	101.5%	4,050	100.3%
当期純利益	1,828	1,882	103.0%	1,900	100.9%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

② セグメント別売上高

(単位:百万円)

	H24 年度	H25 年度 (当期)	H24 年度 比	H26 年度 計画	H25 年度 比
運輸事業	15,573	15,577	100.0%	15,600	100.1%
レジャーサービス事業	10,969	10,776	98.2%	11,100	103.0%
商品販売事業	114,402	117,732	102.9%	119,400	101.4%
不動産事業	14,956	16,286	108.9%	15,800	97.0%
その他の事業	9,803	10,482	106.9%	10,400	99.2%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(3)遠鉄グループ各社の主な事業内容(平成26年3月31日現在)

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道(株)
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)、浜松観光バス(株)
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)、浜松観光バス(株)
	自動車整備、関連サービス業	遠州鉄道(株)
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー(株)、遠鉄交通(株)
レジャーサービス事業	旅行業	遠州鉄道(株)、(株)遠鉄トラベル
	ホテル・旅館業、遊園地事業	遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株)、 (株)ホテルコンコルド浜松
商品販売事業	百貨店業	(株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	(株)遠鉄ストア
	自動車販売業	ネットトヨタ浜松(株)、(株)トヨタレンタリース浜松
	石油製品販売業	遠鉄石油(株)
	サービスエリア物品販売業	遠州鉄道(株)
不動産事業	不動産業	遠州鉄道(株)
	建設工事業	遠鉄建設(株)
その他の事業	保険代理業	遠州鉄道(株)
	食品検査事業	遠州鉄道(株)
	介護事業	遠州鉄道(株)
	自動車運転教習業	(株)遠鉄自動車学校、(株)浜松自動車学校
	健康スポーツ業	遠州鉄道(株)
	人材派遣業、業務請負業、ビル管理業	遠州鉄道(株)、遠鉄アシスト(株)
	情報提供・情報処理サービス業	遠鉄システムサービス(株)

3. 遠鉄グループの人事異動について

◆遠州鉄道株式会社 役員(6月27日付)

新職	旧職	氏名
遠州鉄道 取締役 兼 遠鉄ストア 代表取締役社長【昇任】	遠州鉄道 取締役 兼 遠鉄ストア 常務取締役経営推進本部長	桑原 俊明
遠州鉄道 取締役経営企画部長【新任】	遠州鉄道 経営企画部長	宮田 洋

◆遠州鉄道株式会社 任期満了に伴う役員の退任(6月27日付)

新職	旧職	氏名
遠州鉄道 相談役	遠州鉄道 代表取締役会長	竹内 善一郎
遠鉄ストア 取締役会長	遠州鉄道 専務取締役 兼 遠鉄ストア 代表取締役社長	山口 宏規

◆遠州鉄道株式会社 管理職(6月1日付)

新職	旧職	氏名
内部統制室長	遠鉄建設 代表取締役社長	玉木 利直
営業推進部長【昇格】 兼 アドプロモーション課長	経営企画部次長 兼 事業開発課長	野村 和徳
介護事業部長 兼 介護事業推進課長	介護事業推進室長 兼 介護事業推進課長	飯尾 圭介
運輸業務部長【昇格】	運輸営業部次長 兼 運輸営業課長	高林 宏明
損害保険事業部長	運輸業務部長	鈴木 誠
介護事業部次長 兼 介護業務課長	運輸事業本部 鉄道営業所長	石川 尚弘
不動産事業部次長【昇格】 兼 不動産業務課長	不動産事業部 浜松不動産営業所長	大石 成善
不動産事業部 浜松不動産営業所長	不動産事業部次長 兼 不動産営業課長	池本 浩貴
(出向)なゆた浜北	内部統制室長	清水 聖士
経営企画部 事業開発課長【昇格】	不動産事業部 湖西不動産営業所長	鈴木 修二
経営企画部 エスホ総支配人	営業推進部 エスホ総支配人	佐藤 元章
営業推進部 IT戦略課長【昇格】	営業推進部 IT戦略課副課長	中村 桂
総務部 総務課長	(出向)遠州開発	鈴木 敦之
総務部 経理課長	営業推進部 IT戦略課長	森田 崇文
人事部 人材開発課長	総務部 総務課長	島 康人
運輸業務部 運輸総務課長	総務部 経理課長	平松 達宏
運輸業務部付課長(整備担当)	運輸業務部 運輸総務課長	新村 俊明
運輸営業部 運輸営業課長【昇格】	運輸営業部 運輸営業課副課長	榊原 正之
運輸事業本部 鉄道営業所長	運輸事業本部 浜松東営業所長	山本 賢人

運輸事業本部 浜松東営業所長	運輸事業本部 細江営業所長	安藤 正人
不動産事業部 賃貸事業課長	不動産事業部 浜松東不動産営業所長	小笠原弘樹
住宅事業部 積算課長【昇格】	住宅事業部 リフォーム課副課長	渡邊 一弘
住宅事業部 建設課長	住宅事業部 積算課長	松井 浩光
生命保険事業部 生命保険営業3課長【昇格】	生命保険事業部 生命保険営業2課副課長	深谷 和彦
生命保険事業部 生命保険営業4課長	生命保険事業部 生命保険サービス課長	鈴木 洋志
損害保険事業部 損害保険営業課長【昇格】	損害保険事業部 損害保険営業課副課長	阿部 裕順
損害保険事業部 保険業務課長	損害保険事業部 損害保険営業課長	加藤 友信
(出向)遠鉄石油 ホームライフ部長【昇格】	(出向)遠鉄石油 アクアクララプロジェクトサブリーダー	長谷川 勝啓
(出向)ホテルコンコルド浜松 総務部長	人事部 人材開発課長	保垣 武

◆遠鉄グループ 常勤役員の異動(5月28日・6月1日・27日付)

新職	旧職	氏名
遠鉄建設 代表取締役社長【新任】	遠州鉄道 営業推進部長	鈴木 憲之
遠鉄ストア 常務取締役営業本部長 兼 商品部長【昇任】	遠鉄ストア 取締役商品部長	竹内 重幸
遠鉄ストア 取締役経営推進本部長【新任】	遠州鉄道 損害保険事業部長	江端 統以
遠鉄ストア 取締役総務部長【新任】	遠鉄ストア 総務部長 兼 総務課長	永野 政美
遠鉄ストア 取締役中エリア長 兼 フードワン高林店長【新任】	遠鉄ストア 中エリア長 兼 フードワン高林店長	廣岡 克尚
遠鉄百貨店 取締役経理部長【新任】	遠鉄百貨店 経理部長	野中 英則
遠鉄百貨店 取締役営業推進部長【新任】	遠鉄百貨店 営業推進部長	谷口 充
遠鉄百貨店 取締役営業第二部長【新任】	遠鉄百貨店 営業第二部長	内山 正美
ネットトヨタ浜松 取締役車両部長【新任】	ネットトヨタ浜松 車両部長	伊藤 正寿
ネットトヨタ浜松 取締役バリューチェーン室長 【新任】	ネットトヨタ浜松 バリューチェーン室長	向川 友夫
遠鉄観光開発 取締役遊園地総支配人【新任】	遠鉄観光開発 遊園地総支配人	鈴木 克叔
トヨタレンタリース浜松 取締役営業推進部長【新任】	トヨタレンタリース浜松 営業推進部長	鈴木 利昭
遠鉄自動車学校 取締役磐田校校長【新任】	遠鉄自動車学校 磐田校校長	川田 武

※遠鉄百貨店は5月28日付、遠鉄建設は6月1日付、その他の会社は6月27日付

◆遠鉄グループ 任期満了による常勤役員の退任(6月27日付)

旧職	氏名
遠鉄ストア 専務取締役営業本部長	原田 定男
ネットトヨタ浜松 専務取締役	中野 克己
ネットトヨタ浜松 取締役サービス部長	小野田 恒則
遠鉄観光開発 常務取締役営業本部長	森 美久
遠鉄石油 取締役関連事業部長	野尻 晃弘